※令和４年度以降入学生用

学校番号	１１０

令和８年度　数学科

教科	数学科	科目	数学Ａ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	改訂版　数学Ａ　（数研出版）						
副教材等	改訂版 チャート式 解法と演習 数学Ⅰ＋Ａ（数研出版） 改訂版 サクシード 数学Ⅰ＋Ａ　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業は基本的には教科書に沿って進めていきます。先生の説明をただ聞いているのではなく、自ら考え、主体的に学習をしてください。また中学までとは、扱う問題の量が格段に増え、内容もより高度になっていきます。授業の中で「分かった」と思っていても、それを家庭でしっかり復習、演習をしていかないと「自分で解ける」ようにはなりません。また、試験前に全てをまとめて復習することは極めて難しいです。日頃からもし分からない事や、質問などがあれば、放って置かず、必ずその日のうちに解決していくようにしましょう。
・家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。また、長期休暇中にはたくさんの課題が出されます。先生の話を良く聞き、計画的にこなしていくようにしましょう。
・問題を解くときはまず自分で考えてみましょう。その際、途中式や考え方も書くようにしましょう。分からないときは答えを見てもかまいません。ただし、そこに書いてある解説をしっかり読み、理解できるまで熟読しましょう。答えの丸写しだけは絶対やめてください。それでは何の力もつきません。

2　学習の到達目標

①場合の数と確率，図形の性質、数学と人間の活動についての基礎的な知識や技能を習得することをめざす。
②事象を数学的に考察する能力を培うことで、思考力・判断力・表現力を習得することを目指す。
③主体的に学習に取り組み数学を活用する態度を身に付けることを目標とする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	場合の数と確率，図形の性質、数学と人間の活動において，事象を数学的に表現・処理するために必要な知識や技能を身に付けている。	場合の数と確率，図形の性質、数学と人間の活動において，事象を数学的に考察・表現し，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考え判断することなどを通して，思考力・判断力・表現力を身に付けている。	場合の数と確率，図形の性質、数学と人間の活動における考え方に関心をもつとともに，数学のよさを認識し，それらを事象の考察に活用するなどの、数学の学習を主体的に取り組む態度を身に付けている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第1章　場合の数と確率	第1節　場合の数	a：樹形図を用いて，場合の数をもれなくかつ重複なく数えることができる。順列および組み合わせの総数を記号で表し，それを活用できる。また、公式を理解し，利用することができる。 b：和の法則，積の法則の利用場面を理解し，事象に応じて使い分けて場合の数を求めることができる。条件が付く順列および組み合わせを，見方を変えたり別なものに対応させたりして処理することができる。 c：いろいろな場合の数を求めることに興味・関心を持ち、主体的に学習に取り組んでいる。	定期考査 確認テスト	定期考査	ワークシート レポート 振り返りシート
		第2節　確率	a：確率の性質を理解し，和事象，余事象の確率の求め方がわかる。また、独立な試行の確率を，公式を用いて求めることができる。 b：確率の計算に集合を活用し，複雑な事象の確率を求めることができる。また、複雑な独立試行の確率や反復試行の確率を，公式や確率の加法定理などを用いて求めることができる。 c：いろいろな確率を求めることに興味・関心を持ち、主体的に学習に取り組んでいる。	定期考査 確認テスト	定期考査	ワークシート レポート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

後期	第2章　図形の性質	第1節　平面図形	a:　三角形の外心，内心，重心の定義，性質を理解している。チェバの定理・メネラウスの定理、方べきの定理などについて理解している。 b:　性質や定理を適切に利用して，線分の比や長さ、面積比や角度を求めることができる。 c:　いろいろな平面図形の性質に興味・関心を持ち、主体的に学習に取り組んでいる。	定期考査 確認テスト	定期考査	ワークシート レポート 振り返りシート
		第2節　空間図形	a:正多面体の特徴を理解し，それに基づいて面，頂点，辺の数を求めることができる。 c:いろいろな空間図形の性質に興味・関心を持ち、主体的に学習に取り組んでいる。	定期考査 確認テスト		ワークシート レポート 振り返りシート
	第3章　数学と人間の活動	数学と人間の活動	a:素因数分解を用いて、２数の最大公約数、最小公倍数を求めることができる。割られる数、割る数、商、余りの間に成り立つ関係式について、理解し立式ができる。 b:ユークリッドの互除法について理解し、１次不定方程式を解くことができる。	定期考査	定期考査	

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度